

【学校教育目標】

人権を尊重し、生活を共に切り開いていく子どもの育成
～夢のある楽しい加茂小学校をみんなでつくろう～

家庭の姿

- ◎子どもが安心し、育ちの基盤となる笑顔ある家庭
- ◎社会に出るためのルールやマナーを伝える家庭
- ◎学校・地域とともに協働して子どもに関わる家庭

育てたい加茂っ子の姿(子ども像)

- ◎人とのかかわりの中で、協調的に学ぶ子ども
- ◎課題に対して主体的・創造的に考える子ども
- ◎他者や社会とかかわりを持ち、進んで表現する子ども

地域の姿

- ◎子どもの成長を見守り、関わる地域
- ◎社会のルールやマナーを伝える地域
- ◎家庭・学校とともに協働して子どもに関わる地域

就学前



加茂小学校のあるべき姿

- ◎「自由の相互承認」の感度を育む学校
- ◎価値の多様性を尊重し、自立と共生を進める学校
- ◎世界づくり・仲間づくり・自分さがしを進める学校

中学校

重点①「学ぶ」と具体的な取組

主体的、対話的で深い学びをつくる

- ・「主体的、対話的で深い学び」に向かう授業についての臨床的な授業研究通じて授業改善を行う。
- ・個別最適かつ協同的な学習指導・支援を行う。
- ・家庭と連携し、主体的な学習意欲を醸成する。

① 特別支援教育の充実

- ・UDの教室・授業をつくり、学びへの意欲を高めるとともに、お互いの良さを見つけて、ともに伸びようとする意識を高める。
- ・個々の特性を臨床的にみとり必要な支援を行う。

② 授業の充実と家庭学習への支援

- ・「子どもの意識の連続」を重視した問題解決のプロセスを全教育活動で行い、情報活用能力を伸長する。
- ・問題解決学習、自己モニタリング（ふりかえり）を重視した活動、授業デザインを大切にする。
- ・主体的な学習習慣が定着するよう、学習の目的、方法を明示し指導する。

③ 情報教育の推進

- ・情報活用の技能を育て。個別最適な学習支援を行い、学習保障に資する。
- ・ICT等を機能的に活用し、情報化に対応する情報活用能力・技能を育む

重点②「整える」と具体的な取組

自らを支えるたくましい体を育む

- ・健康安全への関心を高め、基本的な生活習慣を確立する。（感染予防・拡大防止の実践）
- ・体力・運動能力の向上を図る活動を推進し、体を鍛え、最後までやり抜こうとする心を育む。

① 健康教育の充実

- ・自ら健康づくりに取り組む態度、習慣を育成する。（感染防止に係る衛生スキルと習慣を育てる）
- ・アレルギー対策に関わる体制を整備するとともに、食育の充実を図る。

② 安全安心な環境づくり

- ・安全管理の徹底と組織活動の充実のもと、安全への意識を高める安全教育を推進する。

② 姿勢を整える力の育み

- ・体育など体を動かす活動を系統的に行い、バランスよく体力・運動能力を向上させる。
- ・姿勢と心を整えて、次の活動への意欲をもつことの心地よさを味わわせる。

重点③「つながる」と具体的な取組

つながりを大切にする豊かな心を育む

- ・「認める」「ほめる」「励ます」（肯定的評価）を基本に自己肯定感を育むとともに、学級・学校が子どもにとって安心できる居場所となり、学びに向かう集団となるようにする。
- ・特別活動等、自治的な活動を大切に、全ての子どもが活躍できる場をつくり、社会性を育む。
- ・人とのつながりを育み、自由の相互承認の感度を育む

① 道徳教育・人権教育の充実

- ・希望と勇気、思いやり、規範意識、生命の尊さなどの道徳性を高める。
- ・自分も周囲も大切にしようとする心を育てる。

② 生徒指導における協働体制の確立

- ・チームで子どもを見つめ温かい人間関係が築けるよう支援する。
- ・いじめ等の問題行動には、チームで、迅速かつ組織的にきめ細やかな指導・支援を行う。

③ ふるさと・環境教育の推進

- ・自然や地域社会とのふれあいを通して自分たちが育つふるさとや環境に関心を持ち、自らにできることを考えて実践しようとする意識を高める。

加茂小学校教職員の姿(教職員像)

- ◎一人一人のよさを見つけ、子の個性を伸ばそうとする教職員
- ◎自ら学び続け、自らを豊かにし、子とともに成長しようとする教職員
- ◎相互に学び合い、高め合うことを通じ、チームとしての力を高めようとする教職員
- ◎家庭・地域との連携を深め、地域人材・素材を積極的に活用しようとする教職員
- ◎業務改善を進め、子とじっくり向き合うとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向かう教職員

加茂コミュニティづくりの推進～就学前・小学校・中学校のつながりと学校・家庭・地域の協働～